

## 第 196 回 役員 会議 事 要 録

1 日 時 平成 25 年 4 月 30 日 (火) 14 : 30 ~ 15 : 25

2 場 所 事務局第 3 会議室

### 3 議 事

#### (1) 多文化社会学部の設置構想について

学長及び理事(教学担当)から、資料 1-1 に基づき、平成 26 年 4 月設置予定の多文化社会学部の設置計画、及び資料 1-2 に基づき、平成 30 年 3 月 31 日までに定年を超える専任教員について、長崎大学有期雇用職員就業規則により定年後も平成 30 年 3 月 31 日まで専任教員として雇用したいとの説明があり、審議の結果、いずれも了承された。

なお、審議の過程において、大要次の意見があった。

- ① 2 年次の後半から留学させるべきである。
- ② 2 年次後半から留学をさせるには、教養教育との調整が必要である。
- ③ 1, 2 年次での英語の授業を、学生が理解できるのか。
- ④ グローバス世界コースとオランダ特別コースは、英語で行う学部モジュールを検討すべきである。

#### (2) 経済学部及び環境科学部の学生定員の減について

学長及び理事(総務・財務担当)から、資料 2 に基づき、平成 26 年度から経済学部 90 人及び環境科学部 10 人の入学定員を減じ、多文化社会学部の入学定員 100 人へ振り替えることについて説明があり、審議の結果、異議なく了承された。

#### (3) 教育学研究科の改組について

学長から、資料 3 に基づき、平成 26 年 4 月から専門職学位課程の教職実践専攻の教科教育分野を拡充・整備し、それに伴い修士課程の教科実践専攻を廃止する教育学研究科の改組計画(案)について説明があり、審議の結果、異議なく了承された。

(以上)